

はらっぱ

令和5年5月22日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第2号
文責 校長：石澤 友章



「自分の命は自分で守る」ということ

～子ども、教職員、地域みんなで 交通安全を願って～

通学班長を先頭に、子どもたちは安全に気を付けて学校にやってきます。4月初め、特に学校近くの歩道橋のある交差点を通過する児童の多さに驚きました。本校のように、これだけの交通量のある大きな道路を、これだけ多数の児童が横断して登校する学校は、他にないと思います。

お招きした方々

セーフティサポーターズ会長 荒生光男さん、副会長 岡崎茂さん、交通安全指導員 芦野 せつ子さん、堀井 幹雄さん、小関 栄悦さん



5月12日（金）に、「交通安全を願う会」を行いました。巷でも「〇年ぶりの」という言葉がよく聞かれますが、全校生が体育館に一堂に会するのも4年ぶりのこと。会場には、お世話になっている方々をお招きし、感謝と共に自分の命は自分で守ることを誓いました。

児童代表の決意の言葉 （計画委員長 滝沢夏実さん）

皆さんのおかげでみんなが安心して登校できます。わたしは、班のみんなのペースを調整することと、横断の時は自分の身の周りの安全を確認することに気を付けています。これからも安全に登校できるよう、南沼原小学校の一人一人が交通ルールを守っていきます。

5名の方々からも「みんなの元気な姿が自分たちのエネルギーになる」「元気にあいさつをしてくれてうれしい」などなど、子どもたちの励みにもなるメッセージをいただき、とてもありがたく思いました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

※今年度に入ってから、新たにセーフティサポーターズへの加入を希望される方がお二人いらっしゃいました。とてもありがたいことです。ご希望の方は随時学校までお知らせください。

自分たちのくらしを自分たちでつくる ～児童会の取り組み～

児童会も今年度の活動をスタートさせています。スローガンは「自分から あいさつ・ルール・思いやり」と提案されました。計画委員のメンバーが、より良い学校になるためにと言葉を選び、合言葉のようにして覚えられるよう工夫してくれたそうです。（始業式で話した「自分から」という言葉が盛り込まれていることをうれしく思います）各学級では、このスローガンと重点、そして各委員会活動の計画について話し合いが行われました。子どもたち自身が、気づき・考え・行動することは、何よりも子どもに力がつくことです。どの学級でも、黒板に一杯の意見が出され、自分たちのくらしを自分たちでつくっていかうという気持ちが伺えました。そして、大切なのは決めたことを実行すること。最近、朝



真剣に話し合う6年生。流石です！

の子どもたちの「おはようございます」のあいさつが確実に増えていることを感じます。これからの子どもたちの姿にも期待しています。

スローガン

自分から
あいさつ・ルール・思いやり

重点①

明るく元気なあいさつを自分から
できるような取り組みをしています。

（あいさつの木
あいさつ点つなぎ など）

重点②

ルールを守り、安心安全に生活
できるような取り組みをしています。

（ろう下歩行
時間→五分前行動 など）

思いは見えないが、思いやりは見える ～身近な思いやりを感じて～

10数年前に、テレビCMでよく聞かれたこのフレーズは、詩人・宮澤章二の『行為の意味』から抜粋要約したものとされています。児童会のスローガンにも掲げられたこの「思いやり」という言葉。「思い（気持ち）」を相手に「遣る（やる）・向ける」という意味で、相手の気持ちを推し量り、どういうことを望んでいるのかを注意深く考えて接することです。毎日の生活の中で見つけた様々な思いやりのほんの一部を紹介します。

毎日の登校の姿に

私は、歩道橋から学校敷地に入る手前の小さい横断歩道のところに立って、子どもたちの様子を見守っています。登校班の歩く姿を見てみると、高学年の班長が常に後ろのメンバーを気遣いながら歩いていることがわかります。高学年と1年生では歩くスピードは相当違うはずですが、相手の様子を見てそれに合わせて歩こうという思いやりが働いているのだなと感じます。きっと低学年の時に優しく気遣ってもらった経験があるからこそ、高学年になった時に下の子たちに目配りができるのではないかと思います。



地域の中高生の姿に

時間帯によっては、子どもたちが集中し小さな横断歩道がしばらくの間子どもたちでいっぱいになり、他の方が通れない状況になることがあります。そのポイントは沼木方面から自転車で中心部に通学する中高生も通りますが、そうした場面に中高生の皆さんは、決して無理に進もうとせず、小学生の集団が途切れるまで、我慢強く、しかし、当たり前のように待ち、小学生の安全を優先してくれるのです。嬉しくなり、「ありがとうございます」と声をかけると、会釈をしながら、ペダルをこぎ出します。きっと、本校の卒業生もいるのだろうなと思いながら、年下の子どもたちへの気遣いに感謝している毎日です。

2年生の姿に

2年生が、1年生を連れて学校内を案内していました。ついこの前まで最下級生だった2年生も、後輩たちの面倒を見なくてはという意識が芽生え、顔つきまで変わることには驚きます。「もうそろそろ次に行っていいい？」「次は〇〇と〇〇どっちにする？」と、1年生の気持ちを大事にしながら接している2年生の姿をほほえましく思いました。



新校舎落成記念式典の実施について

多くの方々の思いやご尽力のおかげで完成した新校舎。今年1月からすでに、快適な環境の中で過ごすことができ本当にありがたく思っています。この度、関係の方々をお招きして、落成を祝う式典を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

日時：令和5年7月3日（月） 会場：南沼原小 体育館

参加者：5・6年児童、ブラスバンド部員、ご来賓（約80名予定）、教職員

主な内容：・オープニング（ブラスバンドの演奏）

・主催者あいさつ（山形市長） ・来賓祝辞（市議会議長）

・記念DVDの映写 ・児童のお祝いメッセージ

◇記念DVDは、新校舎が出来上がっていく過程の写真画像を中心に編集したものとなる予定です。

◇児童への記念品として、新校舎の写真を使った記念式典ファイルを配付する予定です。